

Tokyo-London Financial Seminar 2021

開催日時

令和3年 **2月12日(金)** 17:30—19:00 (日本時間)

| | |
|------|--------------------------|
| 開催方法 | オンライン配信 ※別途、事前参加申込が必要です。 |
| 対象 | 国内外のフィンテック関連企業、金融機関等 |

プログラム (予定) ※日英同時通訳あり、参加費無料

| | |
|---------------|---|
| 17:30 - 17:35 | 開会挨拶・講演 登壇者：宮坂 学 東京都副知事 |
| 17:35 - 17:45 | 開会挨拶・講演 登壇者：ウィリアム・ラッセル シティ・オブ・ロンドン ロード・メイヤー |
| 17:45 - 17:55 | 講演 「デジタル・イノベーションの支援に関する取組み」 登壇者：野崎 彰 金融庁 組織戦略監理官 兼 フィンテック室長 |
| 17:55 - 18:05 | 講演 「東京のビジネス機会と FinCity.Tokyo について」 登壇者：吉松 和彦 一般社団法人 東京国際金融機構 副事務局長 |
| 18:05 - 18:15 | 講演 「日本の Fintech エコシステムの概要と今後の展望」 登壇者：鬼頭 武嗣 一般社団法人 Fintech 協会 代表理事副会長 |
| 18:15 - 18:30 | 日本企業ピッチ 登壇者 ・工藤 達雄 株式会社 Authlete ソリューション戦略担当VP/デジタル・アイデンティティ・プロフェッショナル ・千葉 孝浩 株式会社 TRUSTDOCK 代表取締役 ・塩澤 崇 株式会社 MFS 取締役 COO |
| 18:30 - 18:40 | 講演 「The IA Engine FinTech Hub and Global Partnership」 登壇者：ジャック・ナイト インベストメント・アソシエーション 副最高経営責任者 |
| 18:40 - 18:55 | 英国企業ピッチ 登壇者 ・ヴィンス・ジュリエ FREGNAN CEO ・サイモン・スワード Fundipedia マネージングディレクター ・ブライアン・マクナルティ FundAdminChain 創業者兼 CEO |
| 18:55 - 19:00 | 閉会挨拶 登壇者：ロジャー・ギフォード卿 グリーン・ファイナンス・インスティテュート会長 シティ・オブ・ロンドン・コーポレーション 参事会員 |

主催



共催



後援



開会挨拶・講演

宮坂 学

東京副都知事

平成9年6月ヤフー(株)入社

平成24年6月ヤフー(株)代表取締役社長

平成25年6月ソフトバンク(株)(現ソフトバンクグループ(株))取締役

平成30年6月ヤフー(株)取締役会長(～令和元年6月18日)

令和元年7月東京副都知事(～令和元年9月19日)

令和元年9月東京副都知事(現任)



開会挨拶・講演

ウィリアム・ラッセル

シティ・オブ・ロンドン ロードメイヤー 2019-2021

ウィリアム・ラッセルは1965年にロンドンで生まれ、イートン・カレッジとダラム大学で教育を受けた。2019年11月8日、第692代ロンドン市長に就任。彼の在任中の市長テーマは「Global UK - The New Future」で、COVID19危機を通じて企業を支援し、回復を加速させ、新しい未来の機会をつかむことである。ウィリアム氏は、国内および国際銀行部門の上級職を務めたなど、金融およびビジネスシティで30年以上の経験を持っている。1987年にファースト・ボストン・コーポレーションに勤務した後、1992年にメリルリンチに入社し、アジア、ニューヨーク、ロンドンで働く機関株式販売の投資銀行家として入社。ウィリアム氏は現在、ロンドンに本拠を置くアセットマネジメント事業であるCDAMの議長を務め、STJアドバイザーを務めている。ウィリアム氏は、英国に拠点を置くフィンテックコミュニティの業界団体であるイノベーターファイナンスの取締役会を働き、教育起業家でもあります。彼はとても慈善活動に関心がある。彼はロイヤルコートシアターの開発委員会の議長、ギルトホール音楽演劇学校の理事、王立演劇支援信託評議会を務めている。



講演 「デジタル・イノベーションの支援に関する取組み」

野崎 彰

金融庁 組織戦略監理官
兼 フィンテック室長

2000年金融庁入庁。

経済協力開発機構(OECD)シニア・ポリシー・アナリスト、金融庁政策課総括企画官、同企業開示課開示業務室長を経て現職。



講演 「東京のビジネス機会と FinCity.Tokyo について」

吉松 和彦

一般社団法人東京国際金融機構
(FinCity.Tokyo) 副事務局長

1997年に東京証券取引所に入社し、上場制度・売買制度・コンプライアンス制度等の企画立案に従事。金融庁総務企画局国際課への2年間の出向で証券監督者国際機構(IOSCO)や資本市場に関わる多国間/二国間協議等の担当を務めた後、株式会社日本取引所グループ(JPX)で広報IR、経営企画、グローバル戦略等を担当。2018年4月から現職。一般社団法人国際資産運用センター推進機構(IIAM)事務局長及び平和不動産株式会社ビルディング事業部次長も2017年4月から兼務。



講演 「日本の Fintech エコシステムの概要と今後の展望」

鬼頭 武嗣

一般社団法人 Fintech 協会代表理事副会長
株式会社クラウドリアルティ 代表取締役

東京大学工学部建築学卒業、東京大学大学院工学系研究科建築学専攻修士課程修了。ボストン・コンサルティング・グループを経て、メリルリンチ日本証券の投資銀行部門にて不動産を中心とした事業会社及びJ-REITのIPO・公募増資の主要業務、不動産証券化に関するアドバイザー業務など多数の案件を執行。2014年に株式会社クラウドリアルティを設立し、代表取締役役に就任。一般社団法人 Fintech 協会代表理事、内閣府革新的事業活動評価委員会委員。



講演 「The IA Engine FinTech Hub and Global Partnership」

ジャック・ナイト

インベストメント・アソシエーション
副最高経営責任者

ジャック・ナイト氏はInvestment Association (以下IA)の副最高経営責任者であり、貿易投資政策、ならびに財務と運営、そしてIAの会員と企業機能を担当している。ジャック氏はかつて、IAのCOOを4年間務め、以前はThe Takeover Panelおよび法律事務所での同様の役職を歴任していた。



開会挨拶

ロジャー・ギフォード卿

グリーン・ファイナンス・インスティテュート会長
シティ・オブ・ロンドン・コーポレーション 参事会員

ロジャー・ギフォード卿はロンドンのSEBのシニアバンカーである。オックスフォード大学で化学を学び、1982年にSEBに入社し、S.G.オーバーク&Co金融部門でキャリアをスタートさせた。英国カンパニーヘッド(2000年～2016年)に就任する前、ロジャー氏は日本で6年間銀行の業務を率いた。彼は、彼のキャリアのほとんどを一次債務と株式資本市場に携わり働いてきた。ロジャー氏は、ロンドンの外国銀行協会(AFB)の現副会長、また旧議長であり、国際ビジネス外交交流(IBDE)の諮問委員会の議長を務めている。2016年に開始されたロンドン・グリーン・ファイナンス・イニシアティブの議長を務め、G20 気候アジェンダへの金



融セクターの貢献をさらに促進し、2018年に英国政府のグリーンファイナンスタスクフォースの議長を務めた。ロジャー氏はまた、気候変動の課題に立ち向かう経済、リスク、商業的機会を主な焦点とする2019年に立ち上げられたグリーンファイナンス研究所の会長でもある。ロジャー氏は2012/13年にロンドン市長を務めている。

日本企業ピッチ 都内フィンテック企業3者

株式会社 Authlete

Authleteは、2015年に設立された、金融業界を筆頭とする様々な分野のAPIエコシステム確立に必須のOAuth/OpenID Connectソリューションを提供する企業である。



[工藤 達雄 ソリューション戦略担当 VP / デジタル・アイデンティティ・プロフェッショナル]

サン・マイクロシステムズ、野村総合研究所、NRIセキュアを経て2018年より現職。デジタル・アイデンティティ業界において20年以上にわたり、プリセールス、コンサルティング、事業開発、エンバジェリズムを手がけている。



株式会社 TRUSTDOCK

KYCの専門機関として、公的個人認証とeKYCに両対応したデジタル身証アプリと、各種法規制に対応したKYC業務のAPIインフラを、24時間365日提供しているクラウド型KYCサービス。



[千葉 浩浩 代表取締役]
前職でのデジタルID研究の結果を基に、KYCの専門機関として事業展開し、そして独立。経営委員や、金融庁イベント等での登壇ほか、KYC・デジタルアイデンティティ分野での登壇・講演活動多数。



株式会社 MFS

日本初のオンラインモーゲージブローカー、住宅ローンのマッチングサービス「モゲチェック」を2015年リリースし、約4万名が利用。住宅ローン借入可能額証明書「モゲパス」や不動産投資ローンサービスなどの派生サービスも展開。



[塩澤 崇 取締役 COO]

2006年東京大学大学院情報理工学系研究科修士課程修了。2006年モルガン・スタンレー証券株式会社にて住宅ローン証券化ビジネスに参画。2009年ボストン・コンサルティング・グループ入社。金融機関の営業戦略立案などのコンサルティングに従事。2015年MFS取締役COO就任。



英国企業ピッチ 英国フィンテック企業3者

FREGNAN

FREGNANは、高度な機械学習技術を使用し、投資家やファンドマネージャー向けの公平で質の高い株式調査をサポートしている。FREGNANは、企業毎に差異のない機械学習の予測を作成している。これに加えて、独自の知識とインサイトを追加することができる。FREGNANは、人間が可能とするよりも多くのデータを収集および分析し、それに内在するリスクをより正確に評価する、より完全な財務モデルを作成している。FREGNANはサイズ(規模)に依存していない、市場にいるかどうかに関係なく、あらゆる企業についてのインサイトを提供し、調査したい企業に関し、備わっていない、高品質で、関連性のあるタイムリーな情報を作成できる。彼らの分析エンジンは、開示されない内容の隠れ味を難しくし、また、経済、世界市場や競合他社など、会社が外部とどのような関りがあるかを識別し、会社の一連の財務諸表全体の相互の関連性を明らかにする。

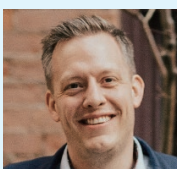


[ヴィンセント・ジュリエク CEO]

ヴィンセント・ジュリエクは、資産運用会社を支援するために人工知能を使用するFregnanの創設者兼CEOである。彼は子供の頃にコンピュータプログラミングを学び、17歳で最初のAIプログラムを書いた。エンジニアリングとビジネスの学位を持つヴィンセントは、BP plcでキャリアを形成する年を過ごし、多くの上級職を務めた。彼はFregnanを始める前に、再生可能エネルギーに焦点を当てたプライベートエージェンシー会社を設立するまで、会社を去った。またヴィンセントは、英国女王家庭の上級メンバーであり、ケンブリッジ大学の特別顧問である。そして、現在400MWのランビオン洋上風力発電所のディレクターを務めている。

Fundipedia

データの形式と容量の急激な増加は、問題解決に何億ドルも費やしている資産運用会社に大きな問題を提起している。Fundipediaは、金融機関からあらゆるタイプのデータを収集、配布、調整できるタイプの革新的な技術を提供する。ユーザー企業はスマートなビジネス上の意思決定を促進するため、エンドツーエンドの制御、インサイト、そして規制要件を満たすための信頼性を提供している。また、サードパーティから静的データと動的データを収集、検証、保存し、ビジネス全体で利用できるようにしている。簡素化された規制報告と自動調整により、ベンダーデータの100%の精度が保証されている。



[サイモン・スワード マネージングディレクター]

サイモン・スワードは、Fundipediaの創設者兼マネージングディレクターである。2009年に設立されたFundipediaは、世界中の中規模および大規模な資産管理組織にデータ技術ソリューションと関連するコンサルティングを提供している。Fundipediaは近年大きな成長を遂げ、現在はM&G、ブルデンシャル、Ninety Oneなど、有名なティア1企業の幅広いサービスを誇りに思っている。サイモン氏は、FCA、投資委員会、TISAなどの規制機関や業界団体と緊密に協力している。彼は、パートナーシップを構築し、テクノロジーを活用して、資産管理業界全体でデータの課題を解決する革新的な方法を見つけることに情熱を注いでいる。

FundAdminChain (FAC)

Fund Admin Chain (FAC) (fundadminchain.com)は、サポートプロセスを前向きで、ファンド取引のコスト、リスク、および処理時間を大幅に削減するとともにファンド業界の運営方法を挑戦している。FACは、資金のライフサイクル全体をデジタル資産として表現、取引、報告するためのインフラストラクチャを提供し、FACネットワーク上の各々がオーナーシップと取引に関する同じ情報を共有できるようにしている。FACは、流通、転送エージェンシー、マッチング、決済、保管および資産サービス、規制および取引報告の間の従来の境界を打ち破り、ファンドのパフォーマンス全体での効率性を高める。当社のソリューションは、ファンドビジネスの将来性を保証し、顧客経験とリターンを向上させながら、自身のコストを削減するために役立つ。



[ブライアン・マクナルティ CEO]

ブライアン・マクナルティは、デジタルファンドの立ち上げ、配布、サービスを提供するためのブロックチェーンベースのネットワークであるFAC(Fund Admin Chain)のCEOである。FACを設立する前は、世界最大のブロックチェーンエコシステムを持つブロックチェーン企業R3のグローバルサービス責任者を務めていた。DLTを金融市場に適用することに対する彼の関心は2015年に始まり、ロンドン証券取引所とPTDL(ポストトレード分散元帳)グループを設立し、ブロックチェーンを活用して金融市場バリューチェーン全体の効率性を実現する方法を模索した。ブライアン氏はFAC以前に、バイサイド/ファンド管理フィンテックを専門とするBFS Consultancy、貿易およびテクニカル分析ソフトウェアソリューションを提供するTradernade International、ブロックチェーンによるキャリア検証プラットフォームであるappii.ioなど、複数の企業を設立した。彼の以前のキャリアはニアデジタルイティブリーダーであり、名誉学位の学位を取得し、グラスゴー大学を卒業した後、認定金融技術者(CFTEレベルII)である。